

<清竜中での生活>

- ① 学校生活のきまりや日課などを理解し、正しい集団生活を送ろう。
- ② ステージ制や生徒会活動を理解し、自主的な活動のできる生徒になろう。
- ③ 一日を反省し日記を書くことによって、自己を見つめ、成長させよう。

<清竜中6つのステージ>

(2023年度)

NO	期 間	名 称	ステージ目標	行事・活動予定
1	4月 6日 ～ 6月 9日	基 本	学校生活における生活や学習の習慣を身に付け、正しい集団生活を送ろう。	始業式 入学式 対面式 避難訓練 修学旅行 野外活動 熊遠足 参観会 P T A総会 部活保護者会 生徒総会 交通安全教室 資源物回収 全国学力調査 期末テスト
2	6月12日 ～ 9月22日	団 結	目標に向けて団結し協力できる学級・部活動・学校集団をつくりあげ、完全燃焼しよう。	夏季大会壮行会 夏季大会 生徒会選挙 三者面談 県学力調査(3年) 防災訓練 体育大会 新人戦壮行会 新人戦
3	9月25日 ～ 10月27日	表 現	集団や個人が努力し築きあげてきた力を最大限に発揮し、感動体験をしよう。	生徒総会 中間テスト 学校保健委員会 資源物回収 文化発表会
4	10月30日 ～ 12月21日	克 己	基本を再確認し、自分の甘い心に負けないで学習・運動に取り組み、自分を鍛えよう。	期末テスト 入学説明会 県学力調査(3年) 参観会 進路説明会 三者面談
5	1月 5日 ～ 2月 9日	自 主	自ら見通しをもち、進んで活動するとともに、授業や学習に集中し、学力向上を図ろう。	県学力調査(1, 2年) 実力テスト(3年) 私立高校入試 学年末テスト
6	2月13日 ～ 3月19日	感 謝	身の回りの人・物・事に感謝し、1年を反省しよう。次年度の生活に目標を持とう。	参観会 公立高校入試 避難訓練 3年生を送る会 卒業式 修了式 離任式

<年間の下校時刻>

水曜日は年間通して原則部活動なし 14:50 下校バス発車

期 間	部活動終了時刻	下校・バス発車時刻	特別便発車時刻
4月10日～ 4月28日	17:05	17:15	各行事等の特別便運行 (緑恵台経由便あり)
5月 1日～ 7月21日	17:20	17:30	
8月30日～ 9月29日	17:05	17:15	
10月 2日～10月31日	16:50	17:00	3年下校便
11月 1日～11月30日	16:35	16:45	7/3～(予定)
12月 1日～ 1月31日	16:20	16:30	15:40
2月 1日～ 2月29日	16:35	16:45	高等学校選抜試験や合格発表等は別途時刻
3月 1日～ 3月18日	16:50	17:00	

@土曜日・長期休業中の部活動便
 <午前便> 8:20着 11:55発 <午後便> 14:00着 16:15発

清竜中学校 1日の生活

()はB日課

活 動	時刻・時間	生徒の動き
登校	7:50～ 8:05	<ul style="list-style-type: none"> 交通規則を守り、8:05までに正門を通る。 あいさつ運動 7:50～8:00 当番活動 窓開け、教室整備、連絡など
朝の準備 読書	8:05～ 8:15	<ul style="list-style-type: none"> 教科書類を机に入れ、カバンをロッカーにしまい、せいりゅうノートなどの提出物を出す。 朝の準備ができた人から読書を始める。
朝の会	8:15～ 8:20	<ul style="list-style-type: none"> 当番の司会で行う。 健康観察は、保体委員が行う。
休み時間	10分間	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間は次の授業の準備・トイレ・移動の時間とする。 3分前入室、2分前着席、1分前黙想をする。
1校時	8:30～ 9:20 (8:30～ 9:15)	<ul style="list-style-type: none"> 学級委員の号令であいさつを行う。 始業、終業のあいさつは意欲あふれる明るい声で行う。
2・3校時 4校時	11:30～12:20 (11:15～12:00)	〃
給食	12:20～12:50 (12:00～12:30)	<ul style="list-style-type: none"> 配膳当番はすみやかに白衣に着替え、マスクをつける。 西階段を下り、配膳室で給食を持って東階段を上がる。 他の生徒は席をグループにし、手洗い・マスクをして、12:25までに席に着く。 給食委員のあいさつで給食をいただく。 12:50給食委員の「ごちそうさまでした。」まで席を離れない。
昼休み	12:50～13:15 (12:30～12:55)	<ul style="list-style-type: none"> 読書や運動場での運動に親しむ。 他の教室、他学年の階には行かない。 教科係は、昼休みまでに翌登校日の予定を黒板に記入しておく。
5校時	13:20～14:10 (13:00～13:45)	1校時と同じ
6校時	14:20～15:10 (13:55～14:40)	1校時と同じ
清掃(水)	14:15～14:25	<ul style="list-style-type: none"> 清掃場所にすみやかに移動し、清掃場所で黙想する。 清掃は静かに行い、担当場所をきれいにする。
帰りの会 〃(水)	15:20～15:30 14:30～14:40	<ul style="list-style-type: none"> 1分前には席に着く。 目を閉じ、1日の反省をしながら黙想を行う。
部活動	15:40～	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会終了10分後には、練習場所にてあいさつをして、活動を始める。
完全下校	部活動終了時刻 の10分後	<ul style="list-style-type: none"> 部活動終了後10分以内に下校する。 下校時の服装は体操服、ユニフォームでもよい。 徒歩生徒はスクールバス出発前に正門を出る。

清竜中学校の服装

- 1 登校は制服とし、下校は体操服、部活ユニフォームでもよい。
※夏季、雨天時は校内服（ジャージ、体操服）登校をしてもよい。
- 2 登校したら校内服（ジャージ、体操服）に着替える。
- 3 制服
 - (1) 冬服 標準型学生服、標準型学生ズボン
清竜中セーラー服（紺セーラー服、スカート、エンジネクタイ）
防寒着として、セーター、トレーナーを着用してよい。ただし、ジャージから見えないように着る。
 - (2) 夏服 白ワイシャツ、標準型学生ズボン
清竜中セーラー服（白セーラー服、スカート、エンジネクタイ）
- 4 冬季は手袋、コート、マフラー、黒色タイツなどを着用しても良い。
- 5 ソックスは白色を基調とし、くるぶしが完全に隠れるものを着用する。
- 6 通学靴は白色靴（白ひも）で、体育授業の運動に適するものを使用する。
- 7 上履き、体育館シューズは学校指定のものを使用する。
- 8 頭髪は清潔な髪型とし、肩につく場合はゴムでしばる。
- 9 通学は、学校指定のカバンを使用し、入りきらない場合はサブバックを使う。

健康で安全な学校生活を送るために

◎ 保健室利用について

1 来室の仕方

- (1) 来室は休み時間とする。先生に断ってから来室する。
- (2) 授業中の来室は、急な病気やけがの場合とする。
- (3) 原則として一人で来室する。

2 利用時間・利用方法

- (1) 原則として1時間とする。1時間休養しても回復しない場合は家庭で休養する。
- (2) 内服薬は使わない。

3 欠席・遅刻・早退の場合

- (1) 7時50分までにさくら連絡網、または8時05分までに電話連絡する。
(TEL 926-3741)
- (2) 遅刻から欠席に変わる場合は、必ず電話で連絡をする。
- (3) 遅刻・早退の場合は職員室に寄り、その時刻を報告する。

学習全般について

1 学習の基本

- (1) 忘れ物をしたときは、必ず授業が始まる前に教科担任に申し出て指示を受ける。
- (2) 「3分前入室 2分前着席 1分前黙想」
- (3) 休み時間のうちに教科書など次の授業の道具を準備しておく。
- (4) 授業の始めと終わりは元気よくあいさつをする。
- (5) 人の話を真剣に聴く。（先生の説明や仲間の考えをよく聴く。）
- (6) 自分の考えを進んで発表する。



2 教科系の活動

- (1) 教科担任と連絡をとり、必要な指示や準備をする。その際、職員室での礼儀・マナーなど、時と場に応じた言動を心掛ける。
- (2) 授業終了直後、授業の評価、次時の予定などを確認し、メモする。
- (3) 昼休みの終わりまでに、予定黒板に学習内容、準備物、宿題を記入する。
- (4) 提出物の回収や配布をする。

3 テストの受け方

- (1) 前日の下校時に机を並び替え、出席番号順の座席で受ける。
- (2) テスト当日は早めに着席し、監督の先生の指示に従う。
- (3) 机の中は空にしておく。
- (4) 机の上は筆記用具、三角定規、コンパスなど必要な道具のみとする。
- (5) テスト中の私語は一切禁止。開始後の体調不良、落物などについては無言で挙手する。
- (6) 不正行為、およびそれと誤解されるような行為は絶対しない。
- (7) 採点者にわかる大きさの文字で、はっきり、濃く書く。
- (8) 早く終わっても、見直しをして時間いっぱいまで取り組む。



4 教科書などの持ち帰りと教室保管

授業と家庭学習とのよいサイクルを身に付け、学力を確かなものにする。そのため、学年や教科の先生の指示に従って、教室保管するものと、持ち帰るものを区別する。